

尾・しっぽ

2023
4.25 (火)
▼
6.4 (日)

東京国立博物館
平成館 企画展示室



東京国立博物館、恩賜上野動物園、国立科学博物館が毎年、動物にちなんだ共通のテーマで取り組んできた連携企画「上野の山で動物めぐり」も、今年で16回めになります。なかでも当館は、家族みんなが動物をあらわした作品を楽しむ企画として特集「親と子のギャラリー」を開催してきました。

今年のテーマは「尾・しっぽ」です。みなさんは尾やしっぽと聞いて、どのようなものを思い浮かべるでしょうか？

この特集では、第1部が哺乳類のしっぽ、第2部は鳥類、爬虫類、魚類と、空想上の動物の尾を取り上げます。美術工芸品には、じつにさまざまな動物があらわされていますが、尾やしっぽという「うしろ姿」に注目する機会はほとんどありません。ネコのふさふさしたしっぽ、尾長鳥の長い尾羽、そして龍のような空想上の動物がもつ異形の尾など、尾・しっぽが、私たち人間にはないものだからこそ、そこに楽しい発見がたくさんあるのではないのでしょうか。時代や地域、そして色や形、素材が異なるさまざまな作品を通じて、いっしょに尾・しっぽをみていきましょう。

また、連携企画の一環として、恩賜上野動物園からしっぽの実物標本、国立科学博物館からは骨格標本をそれぞれお借りし、特別に展示します。

尾やしっぽのさまざまな形を楽しみながら、役割や機能についても、理解をより深めてみましょう。

Family Gallery Animal Tails

Every year, an animal-themed exhibition is held at the Tokyo National Museum in collaboration with Ueno Zoological Gardens and the National Museum of Nature and Science.

This year's theme is "Animal Tails." The first part of the exhibition focuses on the diverse tails of cats and other mammals, while the second part features the tails of birds, particularly those with distinctive long tail feathers, reptiles like turtles and snakes, fish, and imaginary animals such as dragons.

しっぽを体に巻き付けて
リラックス

第1部
哺乳類の

しっぽ

波のように
渦巻くしっぽ



2
猫図 (模本)
Cat (Copy)

まずは、哺乳類のしっぽに注目してみましょう。
私たち人間も哺乳類ですが、しっぽはありません。それは進化の過程でなくなったと考えられています。

ここでは、人間にとって身近な動物をあらわした作品をご紹介します。動物のなかでもとくにネコやイヌは、しっぽの動きで感情を表現すると考えられています。各作品にどのようにあらわされているのか注目してみましょう。



7
白釉獅子枕
Pillow in the Shape of a Chinese Lion

後ろに、誰かいるの？
ぴんと伸ばした
緊張感のあるしっぽ

くるんと丸めたしっぽが
チャームポイントです



3
猫
Cat



1
緑釉犬
Dog

よく観察して描いたしっぽ

9
諸獣図 Illustrations of Animals

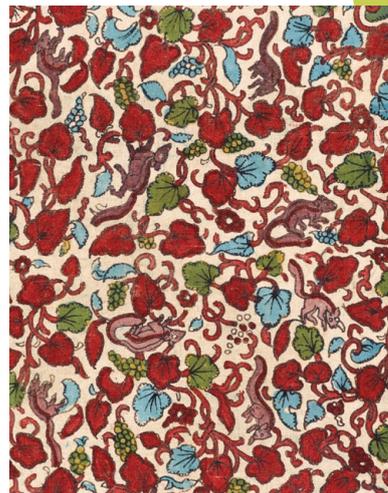
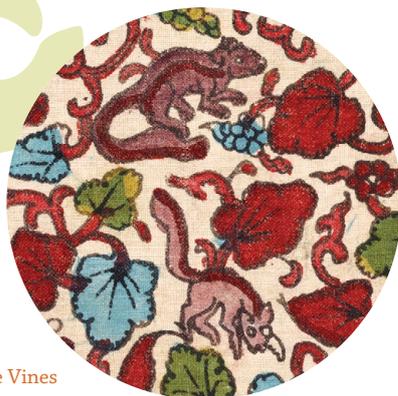


イタチ



タヌキ

文様にまぎれる
リスのしっぽ



31
彦根更紗 白地栗鼠葡萄文様更紗
Hikone Chintz with Squirrels and Grape Vines

龍になろうとしている鯉。
上を向いて、尾びれに力が
こもっています



何メートルあるのでしょうか? とにかく長い尾羽



12
ちうびけい
長尾鶏
Long-Tail Cockerel



吉祥の鳥が長くて美しい
尾羽をなびかせています



15
からおりべにじかごめぼたんくらおながどりもよう
唐織 紅地籠目牡丹桜尾長鳥模様
Noh Costume (Karaori) with Baskets Peonies,
Cherries, and the Long-Tail Bird

どこからが尾でしょう?

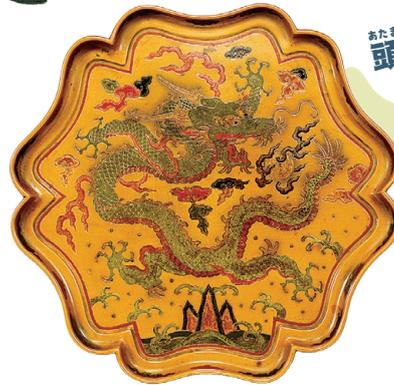
16
じざいへびおきもの
自在蛇置物
Articulated Snake



後方に長くのびる毛は
尾のようですが、じつは
体についた藻や苔なのです



19
みのがめすいてき
菱亀水滴
Water Dropper Shaped Like a Turtle



頭から
尾の先まで、
自由に体を
くねらせてます

21
りゅうぞんせいりんかほん
龍存星輪花盆
Lobed Tray with a Dragon
among Surging Waves

第2部
鳥類、爬虫類、魚類、
空想上の動物の

尾

ここでは、鳥類、爬虫類、魚類、
空想上の動物の尾に注目します。

長い尾羽の鳥は、ひときわ目を引きま。カメやヘビの
尾はどこにあるか、わかりますか。魚は、水の中を泳ぐと
きに尾びれを使いますが、生き生きと表現される尾にも注
目です。また、空想上の動物では、美術工芸品にも数多
くあらわされる龍(竜)を取り上げます。龍の体はシカ
のような角にへびのような胴と複数の動物が組み合わさ
ってできています。頭の前から尾の先まで、じっくりみてま
しょう。動物の体全体のバランスや、形のおもしろさが浮
かび上がってきそうです。



22
りゅうれいじゅうせんとう
竜と霊獣の戦闘
Battle between a Dragon and
a Mythical Beast

絡み合う二つの
胴と尾。竜と霊獣を
見分けられますか

勢いよくはわる尾びれ。
魚に変身中の神様です



26
マツヤ(魚)に化身した
ヴィシュヌ
(マツヤ・アヴァターラ)
The Fish manifestation of
the God Vishnu

23
せい か ぎょちうりゅうもんこうろ
青花魚跳龍門香炉
Incense Burner Shaped Like
a Fish Turning into a Dragon



24
オクシリノクス
Oxyrynchus

しんわ とうじょう せいぎょ ふたまた
神話に登場する聖魚の二股の尾びれ

クイズ

誰の尾・しっぽでしょう？

どの動物のものか、展示作品やこのリーフレットのなかから、さがしてみましょ。



答えは作品リストの下にあります。

作品リスト

番号	名称	作者	製作地	出土	材質・技法等	時代・世紀	寄贈者・伝来等	所蔵(列品)番号
1	緑釉犬	中国	陶製	後漢時代	2~3世紀	武吉道一氏寄贈	TG-2895	
2	猫図(模本)	佐久間琢球模、原本: 徽宗筆	紙本着色	江戸時代	19世紀	A-5093		
3	猫	二代須賀松園作	銅製 鑄造	昭和時代	20世紀	E-20047-5		
4	月下遊猫図	中林竹溪筆	絹本着色	江戸時代	19世紀	A-1300		
5	豹の図	河鍋晩齋筆	大判 錦絵	江戸時代	万延元年(1860)	A-10569-5813		
6	獅子図	中国 周全筆	絹本着色	明時代	15世紀	TA-39		
7	白釉獅子枕	中国 磁州窯 伝中国河北省鉅鹿出土	陶製	北宋時代	11~12世紀	横河民輔氏寄贈	TG-770	
8	北斎漫画	葛飾北斎筆	色摺	江戸時代	19世紀	QA-3006-1		
9	諸獣図	紙本着色	江戸時代	19世紀	P-3025-2			
10	動物実物標本(キリンの尾、キツネの尾、クモザルの尾、ヤマアラシの尾、棘)	恩賜上野動物園						
11	骨格標本(クモザル)	国立科学博物館						
12	長尾鶏	中島仰山筆	紙本着色	明治12年(1879)	QA-3945-18			
13	桃尾長鳥蒔絵鞍轡	木製漆塗	江戸時代	18世紀	H-4207			
14	尾長鳥水滴	銅製 鑄造 彫金 彩色	江戸時代	18~19世紀	渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈	E-20499		
15	唐織 紅地籠目牡丹桜尾長鳥模様	唐織(絹)	江戸時代	18世紀	I-2031			
16	自在蛇置物	宗義作	鉄製 鍛造	昭和時代	20世紀	E-20003		
17	青磁染付鶴亀図菊形大皿	伊万里	磁製	江戸時代	19世紀	平野耕輔氏寄贈	G-4574	
18	蓑亀水滴	銅製 鑄造 彫金	江戸時代	18~19世紀	渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈	E-20535		
19	蓑亀水滴	銅製 鑄造 彫金	江戸時代	18~19世紀	渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈	E-20536		
20	北斎漫画	葛飾北斎筆	色摺	江戸時代	19世紀	QA-3006-3		
21	龍存星輪花盆	中国 「大清康熙年製」銘	木製漆塗	清時代	康熙年間(1662~1722)	TH-524		
22	竜と霊獣の戦闘	インド ビーカーネール派	紙に水彩	18世紀	TA-647-127			
23	青花魚跳龍門香炉	中国 景德鎮窯	磁製	明時代	17世紀	横河民輔氏寄贈	TG-868	
24	オクシリンコス	エジプト 青銅製	目は赤色象嵌	末期王朝時代	前664~前332年頃	百瀬治氏・富美子氏寄贈	TJ-5882	
25	ヤス状刺突具	出土地不詳	骨製(エイ)	縄文時代(後~晩期)	前2000~前400年	J-22664-C70-67		
26	マツヤ(魚)に化身したヴィシュヌ(マツヤ・アヴァターラ)	インド ビーカーネール派	紙に水彩、銀彩	18世紀前半	TA-647-75			
27~29	狐ばなし	歌川国芳筆	大判 錦絵	3枚続	江戸時代	19世紀	A-10569-5498~5500	
30	ラーマヤナの挿絵	インド マールワール派	紙に水彩、金彩、銀彩	19世紀前半	鶴岡龍氏寄贈	TA-693-27		
31	彦根更紗 白地栗鼠葡萄文様更紗	インド 木綿、紙	江戸時代	19世紀	井伊家伝来	TI-392-224		
32	彦根更紗 赤紫地獅子花唐草文様更紗(獅子手)	インド 木綿、紙	江戸時代	17~18世紀	井伊家伝来	TI-392-227		

●クイズの答え: ①No.2、②No.23、③No.9タヌキ、④No.19、⑤No.22、⑥No.12、⑦No.21、⑧No.1

●表紙作品 No.30 古代インドの物語「ラーマヤナ」の戦いの一場面です。長いしっぽをヒントに、ハヌマーン(神猿)がひきいる猿族の軍隊をさがしてみましょ。

●「尾」と「しっぽ」は、それぞれの言葉の意味に本質的な違いはありませんが、この特集では、おもに哺乳類には「しっぽ」、それ以外については「尾」と表記して使い分けています。